



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社 ジェイテック
 コード番号 2479 URL <http://www.j-tec-cor.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小川 典男

TEL 03-6228-7265

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	776	7.5	1		1		29	
29年3月期第1四半期	839	4.2	15		15		24	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 26百万円 (%) 29年3月期第1四半期 23百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	3.49	
29年3月期第1四半期	2.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	1,862	759	40.8	88.68
29年3月期	1,819	803	44.2	93.79

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 759百万円 29年3月期 803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,686	0.0	7	88.8	5	92.0	3	91.3	0.35
通期	3,428	2.9	102	17.6	101	18.0	71	20.7	8.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	8,572,400 株	29年3月期	8,572,400 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	2,800 株	29年3月期	2,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	8,569,600 株	29年3月期1Q	8,545,000 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等を背景に、個人消費や企業収益、雇用情勢の改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、新興国・資源国の経済成長鈍化、米国の金融政策、中東地域等における地政学リスク等、世界経済の不確実性を高める課題は山積しており、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業においては、燃料電池自動車や自動運転技術を備えた先進安全自動車等の開発に伴った自動車関連分野や、ソフトウェア開発分野へのテクノロジスト需要が増加いたしました。また、営業施策の強化や、テクノロジストの高付加価値業務への配属を推し進めたこと等により、稼働率・契約単価ともに前年同期を上回りました。

一方で、技術系人材の獲得競争が激化している中、新規採用の強化を図ってまいりましたが、計画通りのテクノロジスト確保は厳しく、人材不足により案件に対応しきれない状況にありました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高776,129千円（前年同期比7.5%減）、営業損失1,759千円（前年同期は15,764千円の営業利益）、経常損失1,877千円（前年同期は15,742千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失29,875千円（前年同期は24,931千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 技術職知財リース事業

情報処理関連や半導体・集積回路関連分野の顧客企業からの取引が前年同期より増加したものの、他分野の減収をカバーできず、事業全体の売上高が減少となった結果、売上高は740,920千円（前年同期比6.6%減）、セグメント利益は84,174千円（前年同期比9.9%減）となりました。

② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

情報処理関連の分野で一部技術職知財リース事業へシフトしたこともあり、事業全体の売上高が減少となったものの、販売費及び一般管理費の削減により、売上高は36,019千円（前年同期比22.0%減）、セグメント利益は355千円（前年同期は5,692千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は1,862,058千円となり、前連結会計年度末より42,969千円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加87,200千円、売掛金の減少38,061千円によるものであります。

負債合計は1,102,072千円となり、前連結会計年度末より86,685千円の増加となりました。これは主に未払費用の増加177,438千円、賞与引当金の減少64,426千円、長期借入金の減少26,097千円によるものであります。

純資産合計は759,985千円となり、前連結会計年度末より43,716千円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少29,875千円、剰余金の配当による減少17,139千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は40.8%と前連結会計年度末の44.2%に比べ3.4ポイント下落いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,116,257	1,203,458
売掛金	430,771	392,710
仕掛品	1,060	760
繰延税金資産	60,318	60,318
その他	46,775	42,015
貸倒引当金	△877	△752
流動資産合計	1,654,307	1,698,511
固定資産		
有形固定資産	12,823	11,877
無形固定資産		
のれん	40,430	37,320
その他	4,118	3,731
無形固定資産合計	44,548	41,051
投資その他の資産		
敷金及び保証金	64,181	63,933
その他	43,228	46,684
投資その他の資産合計	107,409	110,618
固定資産合計	164,781	163,546
資産合計	1,819,088	1,862,058
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	102,688	102,688
未払金	114,208	107,676
未払費用	47,012	224,451
未払法人税等	42,975	30,693
未払消費税等	40,619	54,831
賞与引当金	150,431	86,005
その他	22,434	26,958
流動負債合計	520,370	633,304
固定負債		
長期借入金	349,420	323,323
繰延税金負債	6,569	7,628
退職給付に係る負債	137,363	136,326
その他	1,662	1,490
固定負債合計	495,016	468,768
負債合計	1,015,386	1,102,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	246,328	246,328
利益剰余金	277,825	230,811
自己株式	△659	△659
株主資本合計	785,329	738,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,739	20,137
退職給付に係る調整累計額	633	1,532
その他の包括利益累計額合計	18,372	21,670
純資産合計	803,702	759,985
負債純資産合計	1,819,088	1,862,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	839,257	776,129
売上原価	643,021	614,356
売上総利益	196,235	161,772
販売費及び一般管理費	180,470	163,532
営業利益又は営業損失(△)	15,764	△1,759
営業外収益		
受取配当金	80	87
助成金収入	150	300
その他	88	141
営業外収益合計	319	528
営業外費用		
支払利息	342	646
営業外費用合計	342	646
経常利益又は経常損失(△)	15,742	△1,877
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	15,742	△1,877
法人税、住民税及び事業税	25,276	27,997
法人税等調整額	15,397	—
法人税等合計	40,673	27,997
四半期純損失(△)	△24,931	△29,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,931	△29,875

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△24,931	△29,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	550	2,398
退職給付に係る調整額	1,375	899
その他の包括利益合計	1,925	3,297
四半期包括利益	△23,006	△26,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,006	△26,577
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	793,094	46,162	839,257	—	839,257
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	793,094	46,162	839,257	—	839,257
セグメント利益又は損失(△)	93,399	△5,692	87,707	△71,942	15,764

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額(△71,942千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	740,920	35,208	776,129	—	776,129
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	811	811	△811	—
計	740,920	36,019	776,940	△811	776,129
セグメント利益	84,174	355	84,529	△86,289	△1,759

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△86,289千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。